

よくある質問（小児用）

混合歯列、永久歯列の不正咬合

Q 1 矯正治療には長い時間がかかるのですか？

A 1 矯正治療では、顎の成長を促したり抑制したりする方法を用いたり、歯の生えかわりを見ながら処置を進めますので時間がかかります。さらに、歯を動かす場合は、少しずつ無理なく動かすことになりますので、治療期間が長くなります。

Q 2 矯正治療は痛くありませんか？

A 2 歯を動かす矯正治療では、固い歯と骨との間の歯根膜という軟らかい組織に圧迫を加えて歯の移動が起こります。このとき軽い炎症反応が起きますので、装置をつけた半日後から3日間ほど痛みがあります。この時期には軟らかい食べ物を食べるようにしましょう。また、装置が口唇や舌に当たって痛い場合は、調整してもらいましょう。

Q 3 矯正治療でむし歯になりませんか？

A 3 矯正治療中は複雑な装置を着けるため、歯磨きもむずかしく、食べかすが付きやすくなります。歯ブラシを小さく振動させて、ブラシの毛先がブラケットやワイヤーの隙間に届くようにしましょう。歯間ブラシを使用するのも効果的です。





Q 4 矯正しなければどんな問題が起こりますか？

A 4 不正咬合の治療の目標に咀嚼能力の回復、構音障害の回復、むし歯の予防、歯肉炎・歯周病の予防、顎発育の促進などがあげられます。不正咬合を放置していると、これらの問題が起こりやすいとされます。また、異常な咬合が個人に心理的な問題を与えることも軽視できません。

Q 5 顎の骨を切って短くすると言われましたが大丈夫でしょうか？

A 5 矯正治療のみでは改善しきれないほど上下顎のバランスが悪い場合は、外科的手術でそのバランスを改善してから並べます。手術は全身麻酔で、無意識のうちに終わります。また一週間ほど入院しますが、生活に支障はありません。

Q 6 矯正してもまたもとに戻ってしまうと言われましたが？

A 6 治療した歯がもとに戻ることを後戻りといいます。治療前の咬合状態や歯列の成長の状態により、その戻りの傾向は異なりますが、保定装置を使用して防ぐことになります。保定装置は、初期には一日中長い時間使用しますが、そのうち夜間のみ使用へと徐々に減らしていきます。

